

Ⅲ 結果の詳細

1 教科に関する調査

(1) 小学校国語

① 全体的な結果

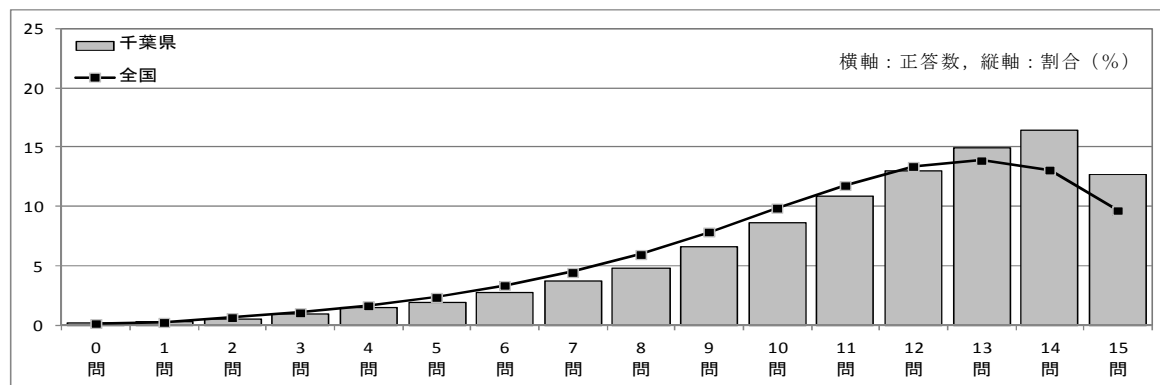
ア 正答数の分布

* 「A～D層」について

- ・各層は全国の児童を正答数の大きい順に整列し、人数比率により25%刻みで4つの層分けを行っています。上位から1番目をA層、2番目をB層、3番目をC層、4番目をD層と呼称します。正答数が同じ場合は、上位の層に含むため、25%を大きく超える場合があります。
- ・千葉県の人数比率は、全国のA～D層を基準に示してあります。

【国語A】

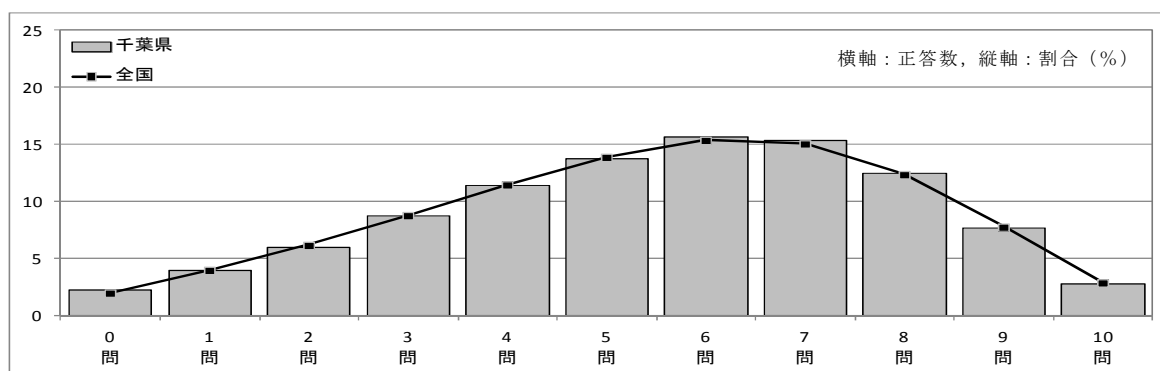
平均正答数が0.5問、平均正答率が2.9ポイント全国より高い。正答数の分布は、全国と比べ全体的に右寄りで、特にA層の割合が高く、C層、D層の割合が低い。



	平均 正答数	平均 正答率	中央値	標準 偏差		* D層 0～7問	* C層 8～11問	* B層 12問	* A層 13～15問
全 国 (公立)	10.9問 ／15問	72.9%	12.0	3.1	全 国 (公立)	20.3%	29.6%	13.4%	36.7%
千葉県 (公立)	11.4問 ／15問	75.8%	12.0	3.1	千葉県 (公立)	16.8%	26.1%	13.0%	44.0%

【国語B】

平均正答数、平均正答率ともに全国と同じである。正答数の分布も、全国とほぼ同じである。



	平均 正答数	平均 正答率	中央値	標準 偏差		* D層 0～3問	* C層 4～5問	* B層 6問	* A層 7～10問
全 国 (公立)	5.5問 ／10問	55.5%	6.0	2.4	全 国 (公立)	21.0%	25.4%	15.4%	38.2%
千葉県 (公立)	5.5問 ／10問	55.5%	6.0	2.4	千葉県 (公立)	20.9%	25.2%	15.7%	38.3%

イ 調査区分ごとに見た傾向（全国平均（公立）を100とする）

知識／活用

「知識」は、低下傾向にあり、昨年度は全国平均に達しなかったが、今年度は大きく上回り、改善が見られた。「活用」は、平成24年度以降、低下傾向にある。

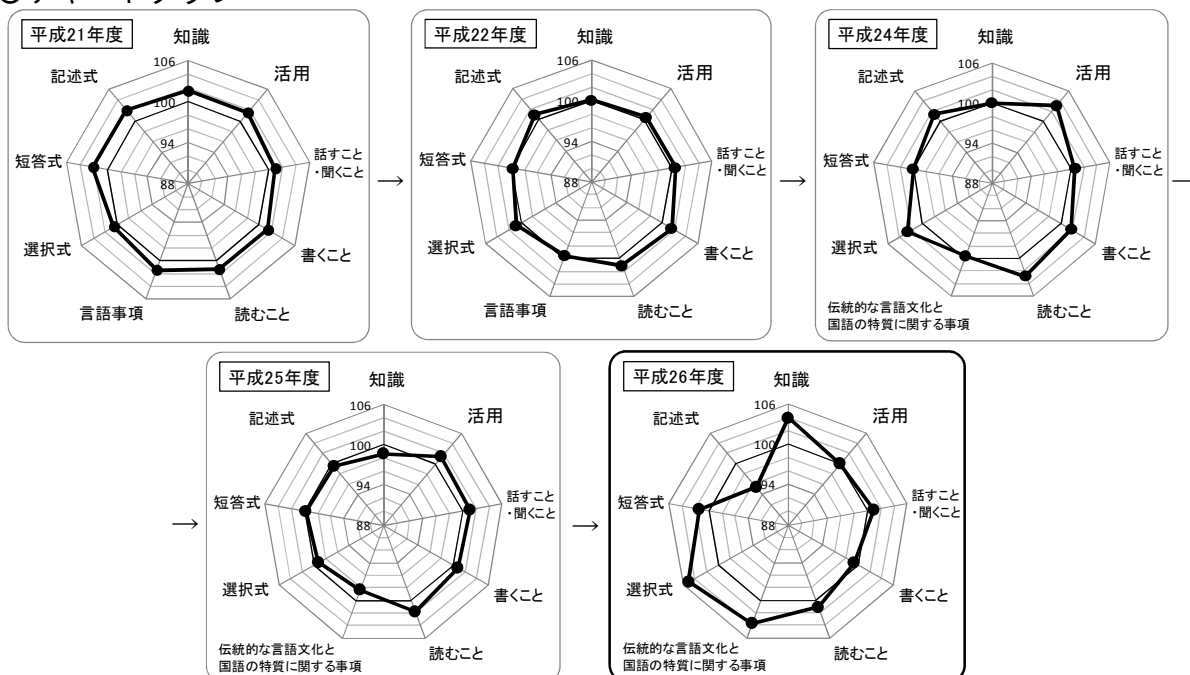
領域等

「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」は、全国平均に達しない状況が続いていたが、今年度は全国平均を上回り、改善が見られた。

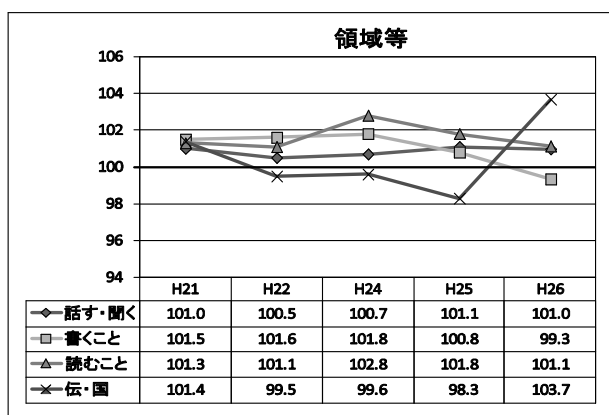
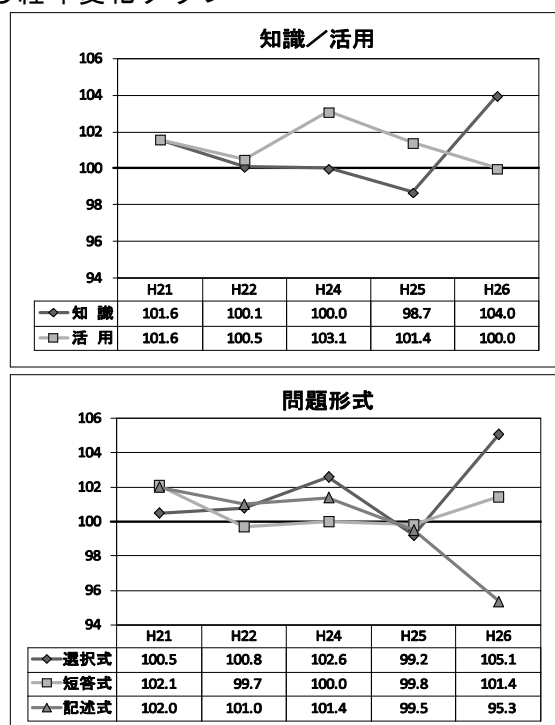
問題形式

「記述式」は全国平均と同程度であったが、今年度は大きく下回り、新たな課題として挙げられる。

○チャートグラフ



○経年変化グラフ



※言語事項、伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項（伝・国）：
平成22年度まで…「言語事項」
平成23年度以降…「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」

※平成23年度は、東日本大震災の影響等を考慮し、実施が見送られた。

② 各設問及び質問紙調査に見られる結果と特徴

(凡例)

- 「出題の趣旨」
「課題改善」 過去の調査結果からの課題を踏まえた問題
「同一」 過去の調査結果と同一の問題
「領域等」 学習指導要領の領域等
「話」 話すこと・聞くこと 「書」 書くこと 「読」 読むこと
「伝」 伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項
「評価の観点」
「関」 国語への関心・意欲・態度 「話」 話す・聞く能力
「書」 書く能力 「読」 読む能力
「言」 言語についての知識・理解・技能
「問題形式」
「選」 選択式 「短」 短答式 「記」 記述式
「肯定的回答」
「当てはまる、どちらかといえば当てはまる」など肯定的な選択肢を選択した割合の合計
「昨年との差」
千葉県今年度（平成26年度）と昨年度（平成25年度）との差を示す

□ 全国を上回るもの
■ 全国を下回るもの
△：全国との差3.0ポイント以上
▼：全国との差3.0ポイント以下

ア 各設問の結果

問題	設問番号	設問の概要	出題の趣旨	領域等	評価の観点	問題形式	正答率			無解答率		
							千葉県（公立）	全国との差		千葉県（公立）	全国との差	
A	1一(1)	漢字を読む (道路の標識を見る)	学年別漢字配当表に示されている漢字を正しく読む	伝	言	短	92.4	0.7		1.7	0.0	
	1一(2)	漢字を読む (街灯がつく)					86.9	-0.1		2.9	0.4	
	1一(3)	漢字を読む (勢いよく走り出す)					79.3	4.9	△	1.5	0.0	
			(H20)				74.9	-1.4		2.2	0.7	
	1二(1)	漢字を書く (料理をのせた <u>さら</u> を運ぶ)	学年別漢字配当表に示されている漢字を正しく書く	伝	言	短	97.1	-0.7		0.9	0.3	
	1二(2)	漢字を書く (勝利を <u>い</u> わう)					62.7	3.4	△	4.5	-2.3	
	1二(3)	漢字を書く (かぜを <u>よ</u> ぼうする)					77.1	-0.3		8.2	1.0	
			(H20)				61.7	-1.3		17.4	0.2	
	2一	故事成語の使い方として適切なものを選択する (五十歩百歩)	故事成語の意味と使い方を理解する	伝	言	選	77.3	21.5	△	0.3	0.0	
	2二	故事成語の使い方として適切なものを選択する (百聞は一見にしかず)					52.9	3.0	△	0.6	0.1	
	3	情景描写を正しく理解し、適切なものを選択する	情景描写の効果を捉える	伝・書	言・書	選	61.1	2.4		0.2	0.0	
	4	新聞の投書を読み、表現の仕方として適切なものを選択する	新聞の投書を読み、表現の仕方を捉える	読	読	選	77.6	5.9	△	0.3	0.0	

問 題	設 問 番 号	設問の概要	出題の趣旨	領 域 等	評 価 の 観 点	問 題 形 式	正答率			無解答率		
							千 葉 県 (公 立)	全 国 と の 差		千 葉 県 (公 立)	全 国 と の 差	
A	5	物語の一部に入る適切な人物の名前を書く	物語の登場人物の相互関係を捉える	課題改善 (H22)	読	読	短	66.3	1.0		0.5	0.0
							67.0	2.0		1.7	-0.1	
	6 一	「～たり、…たり」という表現に直して書く	複数の事柄を並列の関係で書く	課題改善 (※ H25)	伝・書	言・書	短	74.4	-0.5		5.5	-0.2
	6 二	文の意味のつながりを捉え、適切なものを選択する	仮定の表現として、適切なものを捉える		伝・書	言・書	選	83.9	0.8		1.8	-0.2
	7	話合いの記録の仕方として適切なものを選択する	話合いの観点に基づいて情報を関係付ける		話	話	選	73.4	1.0		1.8	-0.3
	8	言葉の意味と使い方を捉え、適切なものを選択する（はかる）	国語辞典を使って、言葉の意味と使い方を理解する		伝	言	選	74.9	0.6		2.5	-0.2
B	1 一	司会④の発言の内容をまとめて書く	目的に応じて、話合いの観点を整理する	課題改善 (H19)	話	話	短	66.5	1.3		8.9	1.0
							64.9	2.0		4.4	-0.5	
	1 二	林さん⑤の質問の狙いとして適切なものを選択する	質問の意図を捉える	課題改善 (H24)	話	話	選	60.9	0.7		3.9	0.4
							64.7	-0.5		0.4	-0.2	
	1 三	大野さん②の発言に対し、手書きの立場から質問か意見を書く	立場を明確にして、質問や意見を述べる	課題改善 (H24)	話・書	関・話・書	記	27.3	-1.0		4.6	-0.4
							51.8	-0.8		15.4	0.9	
	2 一	付箋の内容を関係付けて、原田さんの疑問を書く	付箋に書かれた内容を関係付けながら、最初にもった疑問を捉える	課題改善 (H20)	読	読	短	73.1	1.2		8.6	0.4
							40.9	1.7		3.1	-0.7	
	2 二	付箋の内容を関係付けて、野口さんのまとめを書く	分かったことや疑問に思ったことを整理し、それらを関係付けながらまとめて書く	課題改善 (H25)	書・読	関・書・読	記	25.1	-1.8		7.2	-0.2
							18.5	0.7		20.0	-0.4	
	2 三	疑問を解決するために、目次や索引の中から必要となるページの番号を書く	課題を解決するために、目次や索引を活用して、本を効果的に読む		読	読	短	67.4	1.4		4.4	0.1
	3 一 (1)	【詩 1】の表現の特徴として適切なものを選択する	二つの詩を比べて読み、表現の工夫を捉える		読・伝	読・言	選	81.3	0.9		4.8	0.4
	3 一 (2)	【詩 2】の表現の特徴として適切なものを選択する			読・伝	読・言	選	59.8	0.6		5.9	0.4
	3 二	【詩 2】に対する山田さんの解釈として適切なものを選択する	詩の解釈における着眼点の違いを捉える		読	読	選	47.7	-0.8		21.8	2.0
	3 三	【詩 1】と【詩 2】を比べて読んで考えたことを書く	二つの詩を比べて読み、自分の考えを書く		書・読	関・書・読	記	45.9	-2.2		26.7	0.7

※H25の課題を踏まえた設問ではあるが、1つの問題を2つの問題に分けて出題されているため、数値は示していない。

イ 質問紙調査の結果

質問 番号	国語に関する質問事項	肯定的回答		
		千葉県	全国との差	昨年との差
46	400字詰め原稿用紙2～3枚の感想文や説明文を書くことは難しいと思いますか	35.9	-0.5	1.1
47	学校の授業などで、自分の考えを他の人に説明したり、文章に書いたりすることは難しいと思いますか	42.0	-0.3	1.5
48	学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていると思いますか	65.5	-0.4	
50	国語の勉強は好きですか	64.2	5.0	1.6
51	国語の勉強は大切だと思いますか	91.3	-0.5	0.6
52	国語の授業の内容はよく分かりますか	80.5	0.4	-0.4
53	読書は好きですか	73.4	0.4	0.8
54	国語の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか	86.9	-0.5	-0.2
55	国語の授業で目的に応じて資料を読み、自分の考えを話したり、書いたりしていますか	62.3	0.9	1.1
56	国語の授業で意見などを発表するとき、うまく伝わるように話の組み立てを工夫していますか	58.5	0.0	0.7
57	国語の授業で自分の考えを書くとき、考えの理由が分かるように気を付けて書いていますか	70.1	-0.6	1.1
58	国語の授業で文章を読むとき、段落や話のまとまりごとに内容を理解しながら読んでいますか	74.2	-1.6	2.4
59	今回の国語の問題について、解答を文章で書く問題がありましたが、どのように解答しましたか 1 全ての書く問題で最後まで解答を書こうと努力した【肯定的回答】 2 書く問題で解答しなかったり、解答を書くことを途中であきらめたりしたものがあった 3 書く問題は全く解答しなかった	75.1	-1.0	6.0
60	調査問題の解答時間は十分でしたか（国語A）	87.2	1.7	38.2
61	調査問題の解答時間は十分でしたか（国語B）	49.4	-1.2	-9.8

ウ 各設問及び質問紙から見られる今年度の特徴

- A問題の「故事成語」は、全国と比べ良好であったが、設問によって正答率に差が見られた。また、平成25年度出題の「ことわざ」は、全国平均を大きく下回っていた。これらは、第3・4学年での指導事項であるが、「慣用句」も併せ、意味だけではなく使い方も正しく理解し、実際に使える言葉として獲得できるような指導をしていくことが大切である。
- 過去の同一問題として出題されたA問題の「漢字」については、改善の状況が見られた。
- B問題で出題された記述式の問題は、すべてが全国平均を下回った。B1三・B2二に見られるように過去の調査結果からの課題改善の状況もよいとは言えない。質問紙からは、国語が好き（50）、読書が好き（53）と回答した児童は全国平均を上回るものの、書くことに難しさを感じている様子がうかがえる（46・47・57）。また、記述式の問題に対し、最後まで解答しようと努力した児童の割合が全国平均を下回っており（59）教科、質問紙、双方の結果から「記述」「書くこと」への課題が浮き彫りとなった。

③ 考察

全体的な状況	成果	◇ 低下傾向の続いた知識（Ａ問題）が、全国平均を大きく上回った。課題であった「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」に改善が見られ、特に「故事成語」が、良好であった。 ◇ 国語が好き、読書が好きな児童の割合が全国より高い状況が続き、「読むこと」の領域で全国平均をやや上回る結果が継続している。
	課題	◆ 「記述式」の正答率が、今年度全国平均を大きく下回った。特に文章の構成や記述方法などの与えられた条件に従って書くことに課題が見られる。 ◆ 今年度は文章を書くことに難しさを感じている児童の割合が、全国よりも高くなった。また、書く問題に対して途中であきらめたり、全く解答しなかったりした児童の割合は、全国よりも高い状況が続いている。

話すこと 聞くこと	◇ 話し合いの観点に基づいて情報を関係付けること、話し合いの観点を整理することが、全国より高い【Ａ７、Ｂ１一】。 ◆ 話し合いの中で、話の中心や話し手の意図を捉え、自分の考えと関連付けて質問や意見をまとめることが、全国より低い【Ｂ１三】。
書くこと	◆ 文の定義や構成を理解することが課題である。 ・複数の事柄を含む文の構成を理解し、「～たり…たり」を用いて並列の関係で書くことが、全国より低い【Ａ６一】。 ・二文の内容を一文にまとめて書くことが、全国より低い【Ｂ２二】。 ◆ 引用しながら記述することが、全国より低い【Ｂ１三】。 ◆ 分かったことや疑問に思ったことを整理し、それらを関係付けながらまとめて書くことが、全国より低い【Ｂ２二】。
読むこと	◇ 文章の種類に応じた表現の特徴を捉えることが、全国より高い。 ・新聞の投書の表現の仕方【Ａ４】 ・詩の表現の特徴【Ｂ３一】 ◆ 二つの詩を比べて読む時、表現の特徴を捉えることはできるが、題名や作者について取り上げて自分の考えをまとめることが、全国より低い【Ｂ３三】。
伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	◇ 故事成語のうち、「五十歩百歩」の正答率は全国平均を大きく上回った【Ａ２一】。 ◆ 「百聞は一見にしかず」の正答率は、全国平均は上回るものの、52.9%にとどまった。「一を聞いて十を知る」と誤答する児童の割合が29.7%であった【Ａ２二】。 ◇ 過去の調査と同一の漢字の問題に改善が見られた。 ・「勢い」（74.9%→79.3%）【Ａ１一（３）】 ・「予防」（61.7%→77.1%）【Ａ１二（３）】
その他	◆ 一定の時間内に、ある程度の量の文章に対応できる力を身に付けていく必要がある。 ・Ｂ問題の最後の２問【Ｂ３二・三】は、ともに全国と比べ正答率が低く、無解答率が高い。また質問紙では、解答時間が十分であったと回答した児童の割合が、全国より低いという結果であった。

④ 課題分析と授業アイディア例

引用して自分の
考えをまとめる

立場を明確にして、質問や意見を述べる

課題が見られた問題 < B 1 三 > (話すこと・聞くこと 書くこと：記述式)

大野



【問題】

私もパソコンを使う方がよいと思います。記念に残る卒業文集なので、読みやすくつくるべきだと考えます。手書きだった去年の卒業文集には読みにくいところがありました。パソコンであれば、文字が上手かどうかに関係なく、文字の形や大きさがそろるので、読みやすくなります。

〈条件〉

- 大野さんの発言の中の言葉を、「」を使って引用して書くこと。なお、「」の中に引用する言葉は二十五文字以内とする。
- 書き出しの文に続けて、八十文字以上、百字以内にまとめて書くこと。なお、書き出しの文は字数にふくむ。

(平成26年度 全国学力・学習状況調査 小学校第6学年国語Bより)

【解答の状況】(千葉県/全国)

正答率 (27.3%/28.3%)

無解答率 (4.6%/5.0%)

< 解答類型と反応率から見る誤答例 >

- 大野さんの発言の中の言葉を、「」を使い、25字以内で引用して書けていない。(56.7%/55.7%)
- 80字以上、100字以内で書けていない。(2.8%/2.4%)

【考察】

- ・「」を使って引用する、という意味が分かっていないことが考えられる。
- ・引用することの効果(自分の考えを根拠付ける、補説する、具体例を示す等)が理解できていないことが考えられる。
- ・引用し、その内容に関連付けながら自分の考えをまとめることにつまずいていると考えられる。
- ・決められた文字数の中で、考えをまとめて書き上げること慣れていないことが考えられる。

【課題】

- ・引用して、自分の意見をまとめることに課題がある。
「引用すること」については昨年度も課題であり、改善が見られていない。〈平成25年度B2二 目的や意図に応じ、必要な内容を適切に引用して書く (25.7%/26.2%)〉
- ・字数制限や条件の制限がある中で、文章をまとめて書くことに課題がある。

授業アイディア例

○相手の意見を引用するなどして、自分の質問や意見を述べる

質問するとき

相手の主張を引用して、分からない点や分かりにくい点を質問してみましょう。

賛成の意見を述べるとき

「〇〇さんが…と話したように、私も…です」などと、似たような内容であっても自分なりの言葉を使って発言しましょう。

反対の意見を述べるとき

相手の立場を尊重した言葉遣いで話すことも大切にしましょう。

質問 抽象的な文言を具体化しようとする例

Aさんは、「去年の卒業文集には読みにくいところがありました」と言いましたね。どの部分が読みにくかったのですか。また、文字以外に読みにくいところがありましたか。

意見 根拠を明確にする例

Bさんは、「学級の半分くらいの方は、パソコンを使うことに慣れている」と言いましたね。慣れていない残りの半分の方は困ってしまい作業に取り組めないと思います。だから、私はやっぱり手書きの方がよいと思います。

(国立教育政策研究所教育課程研究センター「平成26年度 全国学力・学習状況調査の結果を踏まえた授業アイディア例」より)

分かったことや疑問に思ったことを整理し、それらを関係付けながらまとめて書く

課題が見られた問題 < B 2 二 > (読むこと 書くこと：記述式)

ふせんを整理しながら、【野口さんの疑問】に対するまとめを、次の条件に合わせて書く。
(条件)

- 【野口さんのふせん】③と④の両方の内容を使って書くこと。
- 【野口さんのふせん】③の内容について、二文を一文にして書くこと。また、④の内容については、「例えば」という言葉を使って書くこと。
- 書き出しの言葉に続けて、百字以上、百二十字以内にまとめて書くこと。

(平成 26 年度 全国学力・学習状況調査 小学校第 6 学年国語 B より)

【問題】
すぐれた鼻を使うことで、水場や食べ物をさがすこともできます。また、においのちがいで仲間を見つけることもできます。

【問題】

【野口さんの疑問】

ゾウの長い鼻は、においを感じ取ることができるのか。

【野口さんのふせん】
③すぐれた鼻を使うことで

④においを感じ取ることにすぐれた動物はどのような動物か？
・ イヌは、どれくらい先のにおいを感じ取るのか。

…一文

…二文

【解答の状況】(千葉県/全国)

正答率 (25.1%/26.9%)

無解答率 (7.2%/7.4%)

< 解答類型と反応率から見る誤答例 >

- 二文の内容を一文にして、「水場」「食べ物」をさがすこと、仲間を見つけること、が書けていない。(12.8%/12.0%)
- 100 字以上、120 字以内で書けていない。(1.6%/1.5%)

【考察】

- ・ 一文、二文という文の定義が分かっていないことが考えられる。
- ・ 文の構成を捉え、文と文をつなぐ方法が分かっていないことが考えられる。
- ・ 決められた文字数の中で、考えをまとめて書き上げることに慣れていないことが考えられる。

【課題】

- ・ 文と文をつなぐ方法を考え、二文を一文にして書き直すことに課題がある。文の定義や構成については、昨年度も課題であり、改善が見られていない。<平成 25 年度 A 3 一文の定義を理解する(35.1%/36.5%)>
- ・ 字数制限や条件の制限がある中で、文章をまとめて書くことに課題がある。

授業アイディア例

(平成 22・25 年度授業
アイディア例より)

先生に相談すると、「あなたの好きなことが、学校のためにつながるとよいですね。」と話してください。それで、花が好きなどところを生かせばよいと気づいた。花のいいのきれいな学校にしようと思った。

【一文が長くなることで、意味が分かりにくくなる事例】

○ 文と文との意味のつながりを考えながら分かりやすい文にする

【主述に着目して一文を分けた例】

- わたしは、先生に相談した。
- 先生が、「あなたの好きなことが、学校のためにつながるとよいですね。」と話してください。
- わたしは、花が好きなどところを生かせばよいと気づいた。
- わたしは、花のいいのきれいな学校にしようと思った。



【複数の文に分けて書いた例】

先生に相談すると、「あなたの好きなことが、…つながるとよいですね。」と話してください。そのことで、わたしは、…を生かせばよいと気づき、花のいいのきれいな学校にしようと思った。

○ 文と文をつなぐ方法を考え、二文を一文にして書き直す

方法①「…たり、…たり」を使ってまとめる。

すぐれた鼻を使うことで、水場や食べ物をさがしたり、仲間を見つけることができる。

方法②「…や」を使ってまとめる。

すぐれた鼻を使うことで、水場や食べ物をさがすことや、仲間を見つけることができる。

方法③「…も、…も」を使ってまとめる。

すぐれた鼻を使うことで、水場や食べ物をさがすことも、仲間を見つけることもできる。

方法④「…こと、…こと」を使ってまとめる。

すぐれた鼻を使うことで、水場や食べ物をさがすこと、仲間を見つけることができる。

(平成 26 年度授業アイディア例より)

(2) 中学校国語

① 全体的な結果

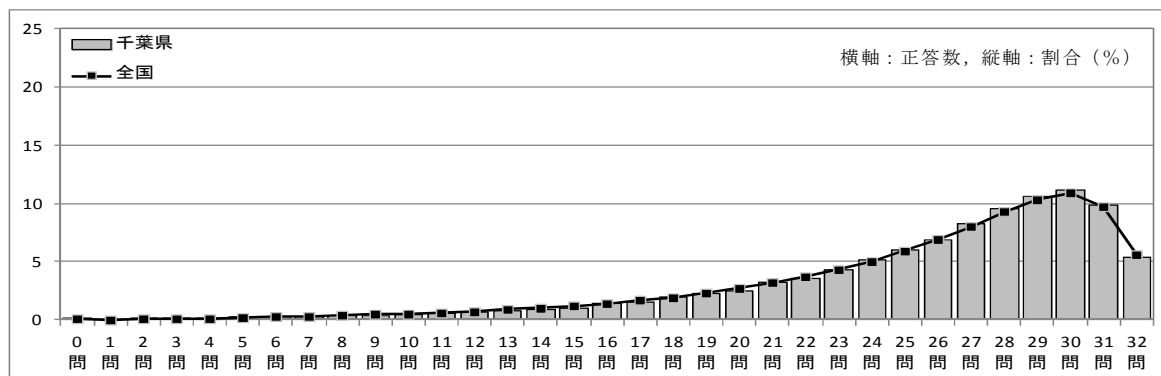
ア 正答数の分布

*「A～D層」について

- ・各層は全国の生徒を正答数の大きい順に整理し、人数比率により25%刻みで4つの層分けを行っています。上位から1番目をA層、2番目をB層、3番目をC層、4番目をD層と呼称します。正答数が同じ場合は、上位の層に含むため、25%を大きく超える場合があります。
- ・千葉県的人数比率は、全国のA～D層を基準に示してあります。

【国語A】

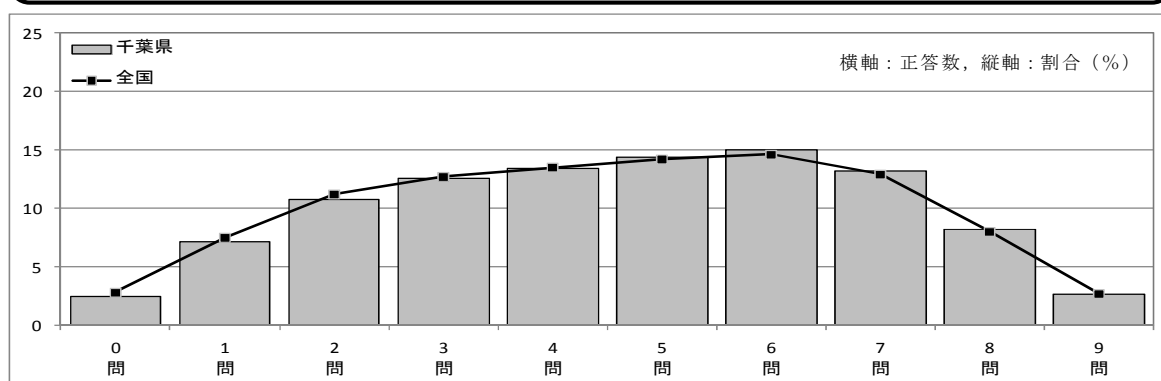
平均正答数では0.1問、平均正答率では0.4ポイント全国より高い。正答数の分布では、B層の割合が全国よりやや高くなっている。



	平均 正答数	平均 正答率	中央値	標準 偏差		* D層 0～22問	* C層 23～26問	* B層 27～29問	* A層 30～32問
全 国 (公立)	25.4問 ／32問	79.4%	27.0	5.7	全 国 (公立)	23.9%	22.1%	27.6%	26.2%
千葉県 (公立)	25.5問 ／32問	79.8%	27.0	5.6	千葉県 (公立)	22.9%	22.3%	28.3%	26.3%

【国語B】

平均正答数では0.1問、平均正答率では0.7ポイント全国より高い。正答数の分布では、全国と比べA層の割合がやや高く、D層の割合が低くなっている。



	平均 正答数	平均 正答率	中央値	標準 偏差		* D層 0～2問	* C層 3～4問	* B層 5問	* A層 6～9問
全 国 (公立)	4.6問 ／9問	51.0%	5.0	2.3	全 国 (公立)	21.5%	26.2%	14.2%	38.2%
千葉県 (公立)	4.7問 ／9問	51.7%	5.0	2.3	千葉県 (公立)	20.4%	26.0%	14.4%	39.1%

イ 調査区分ごとに見た傾向（全国平均（公立）を100とする）

知識／活用

「知識」は、全国平均に達しない状況が続いていたが、今年度は改善が見られた。

「活用」は、全国と同程度の状況が続いているが、上昇傾向である。

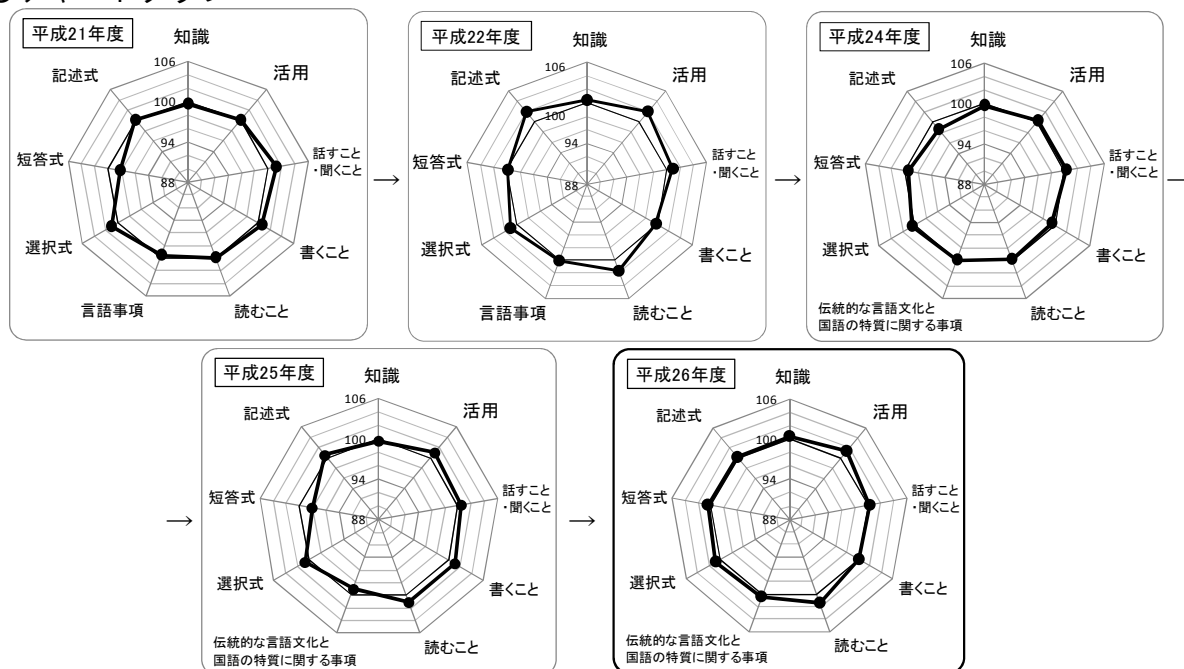
領域等

「読むこと」の領域が全国平均をやや上回った。また「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」は、昨年度は全国平均に達しなかったが、改善が見られた。

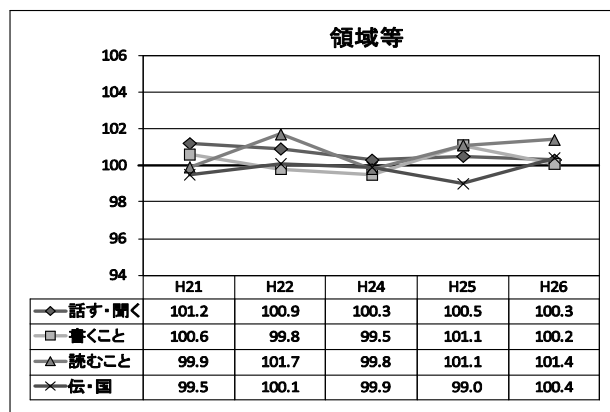
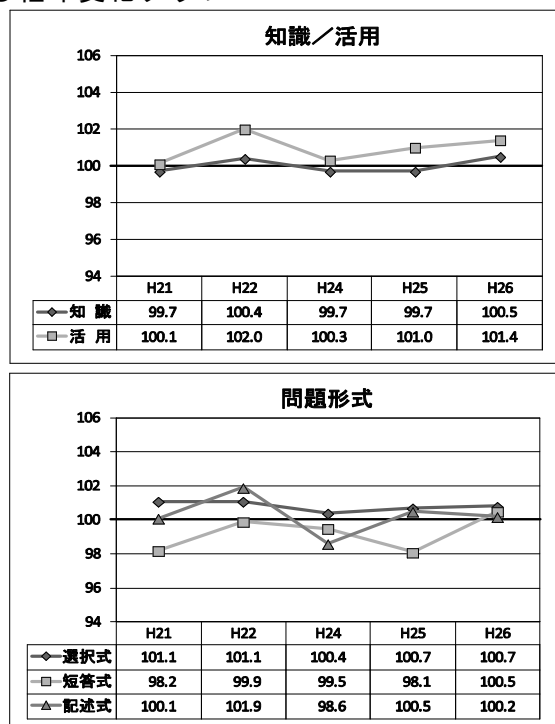
問題形式

「短答式」は全国平均に達しない状況が続いていたが、今年度は改善が見られた。

○チャートグラフ



○経年変化グラフ



※言語事項、伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項（伝・国）：
平成22年度まで…「言語事項」
平成23年度以降…「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」

※平成23年度は、東日本大震災の影響等を考慮し、実施が見送られた。

② 各設問及び質問紙調査に見られる結果と特徴

(凡例)

- 「出題の趣旨」
「課題改善」 過去の調査結果からの課題を踏まえた問題
「同一」 過去の調査結果と同一の問題
「領域等」 学習指導要領の領域等
「話」 話すこと・聞くこと 「書」 書くこと 「読」 読むこと
「伝」 伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項
「評価の観点」
「関」 国語への関心・意欲・態度 「話」 話す・聞く能力
「書」 書く能力 「読」 読む能力
「言」 言語についての知識・理解・技能
「問題形式」
「選」 選択式 「短」 短答式 「記」 記述式
「肯定的回答」
「当てはまる、どちらかといえば当てはまる」など肯定的な選択肢を選択した割合の合計
「昨年との差」
千葉県今年度（平成26年度）と昨年度（平成25年度）との差を示す

□ 全国を上回るもの
■ 全国を下回るもの

△：全国との差3.0ポイント以上
▼：全国との差3.0ポイント以下

ア 各設問の結果

問題	設問番号	設問の概要	出題の趣旨	領域等	評価の観点	問題形式	正答率			無解答率		
							千葉県（公立）	全国との差		千葉県（公立）	全国との差	
A	1一	フリップの効果を説明したものとして適切なものを選択する	目的に応じて、資料を効果的に活用して話す	話	話	選	78.1	-0.5		0.2	0.0	
	1二	報告の内容を踏まえた質問として適切なものを選択する	必要に応じて質問し、足りない情報を聞き出す	話	話	選	81.2	0.9		0.3	0.1	
	2一	主人公の気持ちの変化にふさわしい空の描写として適切なものを選択する	心情が相手に効果的に伝わるように、描写を工夫して書き加える	書	書	選	91.0	0.1		0.3	0.1	
	2二	仲直りができてうれしい主人公の気持ちを印象深く伝えるために書き換える	語句や文の使い方に注意して、伝えたい心情にふさわしい言葉に書き換える	書	書	短	79.0	-0.8		10.1	0.9	
	3一	主人公が「素通りが出来なくなる」と思った理由として適切なものを選択する	登場人物の心情や行動に注意して読み、内容を理解する	読	読	選	92.6	0.7		0.2	0.0	
	3二	「ひとしくおれの方を見た」の意味として適切なものを選択する	文脈の中における語句の意味を理解する	読	読	選	80.1	0.3		0.2	0.0	
	3三	生徒の落書きを見たときの主人公の心情を説明したものとして適切なものを選択する	登場人物の言動の意味を考え、内容を理解する	読	読	選	80.0	0.9		0.4	0.0	

問 題	設 問 番 号	設問の概要	出題の趣旨		領 域 等	評 価 の 観 点	問 題 形 式	正答率			無解答率		
								千葉 県 （公立）	全国との 差		千葉 県 （公立）	全国との 差	
A	4一	ウェブページの項目として適切なものを選択する	集めた材料を分類するなどして整理する		書	書	選	93.2	0.6		0.3	-0.1	
	4二	主語を置き換えて行事の記録を書き直す	叙述の仕方などを確かめて、適切に書き換える	課題改善 （※ H23小）	書	書	短	82.5	2.0		2.9	-0.2	
	5一	「動物」と「外界のもの」との組合せとして適切なものを選択する	抽象的な概念を表す語句が示すものについて理解する		読	読	選	79.9	1.7		0.4	0.0	
	5二	「次々に簡略化していった」理由を説明したものとして適切なものを選択する	文章全体と部分との関係を考え、内容を理解する		読	読	選	86.5	0.9		0.5	0.0	
	6一	二人の発言を聞いて、意見の相違点を整理する	目的に沿って話し合い、互いの発言を検討する	課題改善 （※ H23小）	話	話	短	54.7	0.4		6.6	0.7	
	6二	話合いの方向を捉えた司会の役割として適切なものを選択する	話合いの方向を捉えて司会の役割を果たす		話	話	選	76.2	0.2		1.1	-0.1	
	7一	文章を書くために使った付箋として適切なものを選択する	多様な方法で材料を集めながら考えをまとめる		書	書	選	83.5	-1.1		0.6	0.0	
	7二	文章の構成を変える理由として適切なものを選択する	書いた文章について意見を交流し、文章を書き直す		書	書	選	72.2	0.1		1.0	0.0	
	8一1	漢字を書く（地域の人をショウタイする）	文脈に即して漢字を正しく書く	同一	伝	言	短	54.9	-2.7		15.3	3.0	▼
				(H24)				50.3	-1.2		17.4	2.7	
	8一2	漢字を書く（円のハンケイを求める）			伝	言	短	57.2	-2.3		3.9	0.6	
	8一3	漢字を書く（計画を行動にウツす）			伝	言	短	75.9	2.3		10.5	-0.4	
	8二1	漢字を読む（アユの稚魚を放流する）			伝	言	短	80.7	3.7	△	7.9	0.2	
	8二2	漢字を読む（このホールは音響効果が良い）		同一	伝	言	短	91.7	3.1	△	3.4	-0.7	
				(H20)				90.9	0.3		4.2	0.1	
	8二3	漢字を読む（新記録に挑む）			伝	言	短	95.0	-0.2		1.3	0.0	

問 題	設 問 番 号	設問の概要	出題の趣旨	領 域 等	評 価 の 観 点	問 題 形 式	正答率			無解答率		
							千葉 県 (公立)	全 国 と の 差		千葉 県 (公立)	全 国 と の 差	
A	8 三ア	適切な語句を選択する (よい結果を早く出した いときは、 <u>急がば回れ</u> と いわれるように、かえつ て慎重に議論を進めるべ きだ)	語句の意味を理解し、 文脈の中で適切に使 う		伝	言	選	61.2	2.0		1.0	0.0
	8 三イ	適切な語句を選択する (先のことは分からない が、 <u>とりあえず</u> 準備だけ はしておこう)			伝	言	選	96.1	-0.1		0.6	0.0
	8 三ウ	適切な語句を選択する (地域の伝統的な文化を 継承する)			伝	言	選	78.6	-2.2		0.8	0.0
	8 三エ	適切な語句を選択する (笑い声が満ちている家 には幸運が訪れることを、 「笑う門には福来たる」 という)			伝	言	選	89.8	0.3		0.8	0.1
	8 三オ	適切な敬語を選択する (お客様、私が校内を <u>ご</u> <u>案内</u> します)			伝	言	選	92.3	-0.7		0.8	0.0
	8 三カ	適切な語句を選択する (あの人は、 <u>単刀直入</u> に ものを言う)		同一	伝	言	選	89.8	3.5	△	1.1	0.0
				(H19)				89.6	0.2		1.0	0.1
	8 三キ	適切な語句を選択する (忙しい兄は、休日にと びのびと羽を <u>伸ばす</u>)			伝	言	選	92.7	0.6		1.1	0.1
	8 四	国語辞典で調べたことを 基に、語句の意味を書く (英気を <u>養う</u>)	課題改善	伝	言	短	59.8	-0.1		12.4	0.1	
			(H21)				66.8	0.1		16.8	0.1	
	8 五 1	歴史的仮名遣いを現代仮 名遣いに直す (まうけて)	歴史的仮名遣いを現 代仮名遣いに直して 読む		伝	言	短	77.4	-2.9		7.8	0.8
	8 五 2	古文に当てはまる言葉を 昔話の中から抜き出す	古典と昔話とを対応 させて内容を捉える		伝	言	短	72.8	1.8		9.2	0.2
	8 六	文字を書く際に生かした アドバイスとして適切な ものを選択する	文字の大きさ、配列 などに注意して書く		伝	言	選	77.2	-0.4		1.7	0.1

問 題	設 問 番 号	設問の概要	出題の趣旨	領 域 等	評 価 の 観 点	問 題 形 式	正答率			無解答率		
							千 葉 県 (公 立)	全 国 と の 差		千 葉 県 (公 立)	全 国 と の 差	
B	1 一	標語に使用されている表現の技法として適切なものを選択する	表現の技法について理解する		伝	言	選	64.0	-1.3	0.3	0.0	
	1 二	標語から伝わってくるメッセージを書く際に気を付けたこととして適切なものを選択する	文章に表れているものの見方について、自分の考えをもつ		読	読	選	60.7	1.8	0.4	0.0	
	1 三	ノートを基に、標語から伝わってくる〈メッセージ〉と〈表現の工夫とその効果〉を書く	文章の構成や表現の仕方などについて、根拠を明確にして自分の考えを書く		書・読・伝	関・書・読・言	記	48.6	0.4	3.4	0.0	
	2 一	本とインターネットの内容を比較したときの説明として適切なものを選択する	複数の資料を比較して読み、要旨を捉える		読	読	選	31.1	-0.3	0.5	-0.1	
	2 二	本やインターネットの内容から答えが得られるものとして適切なものを選択する	複数の資料から必要な情報を読み取る		読	読	選	62.8	1.9	0.6	-0.1	
	2 三	水の中に浸すと、切手をきれいにはがすことができる理由を書く	資料から適切な情報を得て、伝えたい事実や事柄が明確に伝わるように書く	課題改善 (H19)	書・読	関・書・読	記	29.1	0.7	16.8	0.8	
								43.3	0.7	12.9	0.5	
	3 一	演者が顔を向ける方向として適切なものを選択する	本や文章から、目的に応じて必要な情報を読み取る		読	読	選	52.9	0.9	0.7	0.0	
	3 二	殿さまの言葉が表す殿さまの姿として適切なものを選択する	落語に登場する人物の言動の意味を考え、その姿を想像する		読・伝	読・言	選	70.4	3.2	△	0.8	0.0
	3 三	落語の演じ方を選択し、なぜそのように演じるのかを、本文を根拠に殿さまの気持ちを想像して書く	落語に表れているものの見方や考え方について、根拠を明確にして自分の考えを書く	課題改善 (H25)	書・読・伝	関・書・読・言	記	45.4	-1.1	8.9	0.3	
								67.4	1.7	10.9	-0.4	

※H23の小学校の調査問題を踏まえた設問であるが、調査が実施されなかったため、データはない。

イ 質問紙調査の結果

質問 番号	国語に関する質問事項	肯定的回答		
		千葉県	全国との差	昨年との差
46	400字詰め原稿用紙2～3枚の感想文や説明文を書くことは難しいと思いますか	33.9	0.9	1.4
47	学校の授業などで、自分の考えを他の人に説明したり、文章に書いたりすることは難しいと思いますか	33.0	0.3	1.1
48	生徒の間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていると思いますか	62.4	0.5	
50	国語の勉強は好きですか	59.0	0.8	-0.1
51	国語の勉強は大切だと思いますか	88.1	-0.9	-0.3
52	国語の授業の内容はよく分かりますか	70.6	-1.4	-1.1
53	読書は好きですか	74.4	5.0	-0.9
54	国語の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか	81.9	-0.6	0.3
55	国語の授業で目的に応じて資料を読み、自分の考えを話したり、書いたりしていますか	55.5	-0.6	3.2
56	国語の授業で意見などを発表するとき、うまく伝わるように話の組み立てを工夫していますか	48.7	-0.4	1.8
57	国語の授業で自分の考えを書くとき、考えの理由が分かるように気を付けて書いていますか	60.4	0.1	-1.2
58	国語の授業で文章を読むとき、段落や話のまとまりごとに内容を理解しながら読んでいますか	68.3	0.8	2.0
59	今回の国語の問題について、解答を文章で書く問題がありましたが、どのように解答しましたか 1 全ての書く問題で最後まで解答を書こうと努力した【肯定的回答】 2 書く問題で解答しなかったり、解答を書くことを途中であきらめたりしたものがあった 3 書く問題は全く解答しなかった	68.5	-1.9	-3.8
60	調査問題の解答時間は十分でしたか（国語A）	92.6	-0.4	1.6
61	調査問題の解答時間は十分でしたか（国語B）	77.8	-1.7	3.7

ウ 各設問及び質問紙から見られる今年度の特徴

- A問題の「漢字を正しく書く」設問では、3問のうち2問が全国平均を下回った。特に、A8-1の「招待」は過去と同一の問題であるが、無解答率がさらに高くなった。
- A1-1、B1-1、三は、表現分析に関わる設問であるが、全国平均を下回る傾向にある。その中でもB1-1、三で出題された表現の技法については、過去にも全国平均を大きく下回る結果が見られた。それぞれの名称と具体的な表現とを結び付けながら、表現の技法を理解していく指導に力を入れる必要がある。
- B2-3の「内容が正確に伝わるように説明する」という記述式の問題は、全国平均は上回るものの、正答率が29.1%と極めて低く、質問紙では、記述問題で最後まで解答を書こうと努力した生徒の割合が全国平均を下回っていた（59）。また、他者に説明することに難しさを感じている様子も見られ（47）、教科の結果からも、質問紙の結果からも「説明する」ことに関して、課題があることがうかがえる。

③ 考察

全体的な状況	成果	◇ 知識（A問題）、活用（B問題）ともに、全国と同程度であり、平成 24 年度以降上昇傾向にある。特に、全国平均に届かない状況が続いていた「知識」に改善が見られた。 ◇ 国語が好き、読書が好きな生徒の割合が、全国より高い状況が続いている。特に読書好きの割合が高く、3 領域の中でも「読むこと」が最も良い結果であった。
	課題	◆ 「漢字を正しく書くこと」に改善が見られず、継続した課題である。 ◆ 説明に関する問題の正答率が低く、特に説明的な文章から読み取った科学的事象について、その理由を文脈に即して説明することに課題がある。 ◆ 表現の仕方やその効果を的確に捉えること、表現の技法の意味や用法を理解することに課題がある。

話すこと 聞くこと	◇ 発表の内容を的確に把握し、必要に応じて足りない情報を聞き出すことが、全国より高い【A 1 二】。 ◆ 話し合いの中で、互いの発言を検討して、共通点や相違点を整理する問題の正答率が低い【A 6 一】。
書くこと	◇ 主語と述語の関係を考えて文を書き換えたり、構成を考えて文章を書き換えたりする推敲に関する問題が、全国より高い【A 4 二、A 7 二】。 ◆ 文章や資料から必要な情報を取り出し、それらを用いて適切に説明する内容をまとめて書く問題の正答率が低く、無解答率は全国より高い【B 2 三】。 ◆ 条件に沿って引用したり要約したりしながら書くことが、全国より低い【B 3 三】。
読むこと	◇ 長文を読むことに関する問題が、全国より高い。 ・登場人物の言動の意味を考え、その内容を理解する【A 3 一、三、B 3 二】。 ・抽象的な概念を表す語句の内容を捉えながら、文章全体を理解する【A 5 一】。 ◆ 表現の分析に関する問題が、全国より低い。 ・表現の工夫とその効果についての理解【A 1 一、B 1 三】 ・表現の技法の理解（擬人法）【B 1 一】
伝統的な言語 文化と国語の 特質に関する 事項	◇ 漢字を正しく読むこと、語句の意味を理解することに関する問題で、全国平均を上回るものが昨年度より多い【A 8 二、A 8 三】。 ◆ 漢字を正しく書くことに課題があり、特に小学 4 年以降の漢字が書けていない。 ・「招待」…招(5 年) 待(3 年) ・「半径」…半(2 年) 径(4 年)【A 8 一、2】 ・「均等」…均(5 年) 等(3 年) ・帯(4 年) 【平成 25 年度】 ◆ 歴史的仮名遣いを現代仮名遣いに直して読むことが、全国より低い【A 8 五 1】。
その他	◆ 一定の時間内に、ある程度の量の文章に対応できる力を身に付けていく必要がある。 ・B 問題の最後の設問【B 3 三】は、全国と比べ正答率が低く、無解答率が高い。質問紙では、解答時間が十分であったと回答した生徒の割合が全国より低い。平成 24 年度以降この状況が続いており、課題である。

④ 課題分析と授業アイディア例

表現の技法とその
効果を捉える

表現の仕方について、根拠を明確にして自分の考えをまとめる

課題が見られた問題 < B 1 一 > (伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項：選択式)
< B 1 三 > (読むこと 書くこと：記述式)

【問題】
【早川さんのノート】
「読書週間」の標語
■ 標語から伝わってくるメッセージと、表現の工夫とその効果について
・ 風もページをめくる秋
(「メッセージ」) ↓
・ 秋はさわやかな季節なので、たまには快い風の中で本を読み、リラックスした時間を過ごしてみようかしらというメッセージが伝わる。
(「表現の工夫」) ↓
・ を使って、情景を豊かに想像できるようにしている。また、体言止めが使われ、秋が強調されている。

一 に入る言葉として、最も適当なものを次の1から4までのの中から選ぶ。
1 反復法 2 対句法 3 擬人法 4 倒置法 正答…3

三 早川さんが作った次の二つの「標語」について、あなたはどのように思うか。A、Bから一つ選び、選んだ「標語」から伝わってくる「メッセージ」と「表現の工夫とその効果」についてのあなたの考えを、あとの条件1から条件3にしたがって書く。
(「標語」)
A 心のアンテナ読書で伸ばそう
B その本が未来を示す案内図

条件1 「(メッセージ)」及び「(表現の工夫とその効果)」は、【早川さんのノート】を参考にして具体的に書くこと。
条件2 「(メッセージ)」は、「というメッセージが伝わる。」に続くように書くこと。
条件3 「(メッセージ)」及び「(表現の工夫とその効果)」は、それぞれ四十文字以上、六十文字以内で書くこと。
(平成26年度 全国学力・学習状況調査 中学校第3学年国語Bより)

【解答の状況】(千葉県/全国)
一 正答率 (64.0%/65.3%)
無解答率 (0.3%/0.3%)
三 正答率 (48.6%/48.2%)
無解答率 (3.4%/3.4%)
< 解答類型と反応率から見る誤答例 >
一 ○ 対句法と誤答 (13.2%/11.6%)
○ 倒置法と誤答 (17.1%/17.5%)
三 ○ 作者のメッセージを捉えて書くことができていない。 (1.2%/1.1%)
○ 表現の工夫とその効果を捉えて書くことができていない。 (32.4%/33.4%)

【考察】
一・表現の技法について「擬人法」や「反復法」などの名称と結び付けて理解していないことが考えられる。
三・短い言葉で表わされた内容から、作者のメッセージを豊かに想像することができていないと考えられる。
三・表現の技法によって、どのような効果が生まれるのかに気づくことができていないことが考えられる。

【課題】
・表現の技法の意味や用法を理解し、使用することに課題がある。

授業アイディア例

○表現の仕方について、根拠を明確にして自分の考えをまとめる授業

標語を分担し、表現の工夫とその効果について分析する

分析した内容について説明し合う

分析を生かして標語を作る

↓

表現の技法の種類やその効果について理解させ、自覚的に使わせる。

学習の流れ

「表現の技法を用いて読書についての標語を作る」ための学習の見通しをもつ。過去の「読書週間」の標語を取り上げ、グループで担当した標語の表現の工夫とその効果について分析する。(第1時)

それぞれの標語について分析した内容を交流し、表現の工夫とその効果について整理する。(第2時)

読書についての自分の思い(メッセージ)を書き、表現の技法を用いて標語の形で表す。(第3時)

<メッセージ>を標語にした際の表現の工夫についてまとめ、グループで読み合い、意見を述べる。(完成した標語を校内に掲示する。)(第4時)

(言語活動) 表現の技法を用いて、読書についての標語を作る。

【ワークシートの例】

標語案②

休み時間 本の世界で大冒険

・ 五七五

・ 体言止め

標語案①

変わりました この一冊で

・ 倒置法

私は、休み時間に本に夢中になった経験を、《五七五》の形式で表しました。そうするとリズムがよくなるので、本を読んでいるときのワクワクする気持ちがより伝わりやすくなると思ったからです。また、大冒険と《体言止め》にすることで冒険を強調し、現実には味わえないような体験が本の中ではできることを表してみました。

表現の技法を用いて 読書についての標語を作る

◆ 読書についての自分の思い (「メッセージ」) ◆

・ 最近出会った一冊の本で変わった
・ 先が知りたくなるワクワク感がある
・ 休み時間も夢中

(国立教育政策研究所教育課程研究センター「平成26年度 全国学力・学習状況調査の結果を踏まえた授業アイディア例」より)

資料から適切な情報を得て、伝えたい事実や事柄が明確に伝わるように書く

課題が見られた問題 < B 2 三 > (書くこと 読むこと：記述式)

封筒に貼ってある切手を水の中に入れておくと、きれいにはがすことができるようになる。その理由を次の条件1と条件2にしたがって書く。 条件1 「切手」、「液体」、「アンカー効果」という言葉を全て使って書くこと。 条件2 二十字以上、五十字以内で書くこと。 (平成26年度 全国学力・学習状況調査 中学校第3学年国語B)より	【問題】 【本の一部】 接着剤に書かれた【本の一部】を読んで答える。 (前略) なぜ接着剤は物と物とをくっつけることができるのでしょうか。物をくっつける仕組みはいろいろありますが、ここでは代表的な仕組みで考えてみましょう。 接着する物の表面を顕微鏡で見ると、つるつるしているように見える金属でも、その表面には肉眼では見えない凹凸があることが分かります。そこに接着剤を塗ると、凹凸のすき間に接着剤が入り込みます。そして、すき間に入った接着剤が固まることで、物がくっつきます。これをアンカー効果といいます。アンカーとは船の錨のことです。接着剤が物をくっつける仕組みを、海の底に錨を下ろし船を留めておく様子に例えて、そう呼んでいます。つまり、液体の状態の物の表面に広がる接着剤が、すき間に入って固体となることで、物と物とをくっつけているのです。 次に、接着剤が液体から固体になる変化について考えてみましょう。 接着剤が液体から固体になる変化には、いくつかの種類があります。例えば、工作用のりや木工用接着剤は、接着剤の中に水分や溶剤を含んでいて、それらが蒸発することで固まります。水分を含んでいない切手の場合も同様で、切手の裏側ののりの部分は、ぬらすことで液体の接着剤になり、やがて固まります。つまり、接着剤に含まれる水分や溶剤が蒸発することで、接着剤が液体から固体になる点で共通しています。 (後略)	【解答の状況】(千葉県/全国) 正答率 (29.1%/28.4%) 無解答率 (16.8%/16.0%) <解答類型と反応率から見る誤答例> ○切手を水の中に入れておくと、きれいにはがすことができる理由を書くことができていない。(47.7%/49.4%) ○「切手」、「液体」、「アンカー効果」という言葉を全て使って書くことができていない。(1.2%/1.1%) 【考察】 ・アンカー効果について、正しく読み取ることができていないことが考えられる。 ・アンカー効果による、くっつく仕組みの逆を説明すればよいことに気付いていないことが考えられる。 ・はがすことができる原因(固体から液体になる)と結果(アンカー効果がなくなる)を、逆に説明していると考えられる。 【課題】 ・本や資料から得た情報を正確に理解して整理することに課題がある。 ・読み取った情報を使い、問われていることに対して、過不足なく適切に説明することに課題がある。
---	---	--

授業アイディア例

○本や文章から適切な情報を得て、
考えをまとめる授業

知りたいことを明確にして、本や
文章を読む

必要な情報を探し、書かれた内容
を正しく捉える

知りたいことの答えを適切に書く

↓
情報を活用して疑問を解決する際に
正しく読めているか、適切に書けて
いるかを教師が評価し、指導するこ
とが大切である。

➡ 一つの資料では、十分な回答が
得られないように作成(二つの資料
から必要な情報を抜き出して回答
する)

～資料から適切な情報を得て、回答する文章を書こう～

【質問】 「マグロの刺身は、タイの刺身に比べて、色が赤いのはなぜか」

○ 回答を得るために必要だと思われる部分に線を引きながら、二つの資料を読み
ましょう。

【資料①】料理の本のコラム

魚の刺身は赤身と白身があります。赤身の赤い色は、筋肉に含まれるミオグロビンの量に
左右されます。ミオグロビンは、筋肉を動かすために必要な酸素を貯蔵しています。このミ
オグロビンが赤いので、これを多く含む筋肉は色が赤くなります。

赤身魚は、こってりとしたうまみのあるのが特徴です。白身魚は、あっさりとした淡泊な
味が特徴です。

赤身、白身にかかわらず、魚にはそれぞれ体の調子をよくする各種ビタミン・ミネラルな
どたくさん種類の栄養があるので、いろいろな種類の魚をバランスよく食べましょう。

【資料②】魚の事典の一部

マグロやカツオなどは、群れを作り、広い海域を常に泳ぎ続けながら回遊しています。こ
れに対して、タイやヒラメなどは、ふだんは余り泳ぎ回らず、獲物を捕ったり天敵から逃げ
たりするときに素早く動きます。

広い海域を長時間回遊する魚は「遅筋」という筋肉が発達し、素早い動きをする魚は「速
筋」という筋肉が発達します。「遅筋」にはミオグロビンというタンパク質がより多く含ま
れており、このタンパク質が酸素を筋肉に供給しています。